

9. モニタリングのスケジュール

分類	調査	概要	調査地点	調査頻度	調査時期	比較基準となる既往調査	スケジュール					
							H18	H19	H20	H21	H22	H23
自然環境の状態	植生調査	<ul style="list-style-type: none"> 歩道沿いの踏圧の影響の大きいと考えられる地点に調査地点（5地点）を定め、歩道から0m、3m、6mの位置に、2m×2mの調査区を3個設定し、これを1地点あたり2セット（計6調査区）設定。 調査区内の種名、被度（%）、群度および土壤硬度を記録。 植生の変化を視覚的に把握するために、定点撮影を実施。 	V-1a（大台教会下a） V-1b（大台教会下b） V-2（ナゴヤ谷） V-3（七つ池） V-4（ヤマト谷上）	毎年	夏季	・H19およびH20年度調査		○	○	○	○	○
	種子等持込み状況調査	<ul style="list-style-type: none"> 植生調査によって、外来種等の分布状況を把握し、異変があれば下記を詳細調査として実施する。 (西大台外来植物重点調査) 利用調整地区入口等において、利用者の靴に付着した泥等を一定期間ごとに収集し圃場にてまき出し、泥に含まれる種子の種名等を発芽法により特定する。 	Spt-1（大台教会下）他	必要に応じて適宜	適宜	・H19およびH20年度調査	△ 予備調査	○				
	植生回復調査	<ul style="list-style-type: none"> 人の利用による踏み分け道3地点、裸地3地点において、10m×10mの調査区を1個ずつ設定。 裸地については、裸地調査区に隣接し、光環境が同程度で利用による影響が少ない場所に対照区（10m×10m）を1個ずつ設定。 調査区内の植生調査を行い、出現した植物の種名、被度・群度を記録。 植生の回復状況を視覚的に把握するために、定点撮影を実施。 	Re-1（踏み分け道等、ナゴヤ谷） Re-2（裸地、ナゴヤ谷） Re-3（踏み分け道等、七つ池） Re-4（裸地、七つ池） Re-5（裸地、開拓跡） Re-6（踏み分け道等、経ヶ峰）	被度群度調査は5年に1回 写真撮影は毎年	夏季	・H19およびH20年度調査		○ 詳細調査	○ 詳細調査	△ 写真撮影	△ 写真撮影	○ 詳細調査
	希少植物調査	春季、夏季、秋季に1回ずつ、歩道沿いにおける希少植物の種名、分布状況、個体数、生育状況等について把握。	西大台全域の歩道沿い	毎年	春季 夏季 秋季	・H19およびH20年度調査		○	○ 春季	○	○	○
	蘚苔類被度調査	<ul style="list-style-type: none"> 地表性蘚苔類を指標植物として利用による影響を把握できる地点に調査区を設置し、隔年ごとに蘚苔類の被度を記録。 上記を補足するため、詳細調査を行い、各調査区の蘚苔類の種名を記録。 	Bpt-1（開拓分岐）K-1～5の5ヶ所）と、Bpt-A～Iのうち7地点選択計8地点	被度調査は隔年 詳細調査は5年に1回	秋季	・H19およびH20年度調査		○ 詳細調査	○ 詳細調査			○
	動物調査	<ul style="list-style-type: none"> 植生調査と同一の調査地点のうち、2地点で、歩道から0、2、4、8mの調査区を設定して土壤(100cc)を採取し、ツルグレン装置で抽出した中型土壤動物の個体数を把握する。 	植生調査の調査地点のうち、V-3（七つ池）、V-4（ヤマト谷上）の2地点	5年に1回	秋季	・H19およびH20年度調査		○	○		○	
利用のあり方	鳥類調査	<ul style="list-style-type: none"> 通常の野生動物調査のテリトリーマッピングの調査結果を活用し、異変があれば、下記を詳細調査として実施する。 (西大台鳥類利用影響重点調査) 歩道上にルートを定め、ルートセンサスにより出現した鳥類を記録。・ルート長は1km程度、観察幅は片側25m（両側50m）程度、歩行速度は時速2km程度。 	ルート4（大台教会下～中ノ谷） ルート5（七つ池～西） ルート7（ナゴヤ谷～中ノ谷） ルート8（開拓分岐～東）	通常調査は5年に1度、重点調査は適宜	繁殖期	・H15・16 野生動物調査・鳥類		○				
	利用実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 利用認定者リストにより、各日および時間帯の利用者数を把握。 入山者カウンターのデータにより、上記を補足し、利用ルート等の利用実態を把握。 	西大台カウンター設置箇所認定者リスト	毎年	4月～11月	・H16～入込み者数カウンター調査		○	○	○	○	○
	利用者意識等に関する調査	利用者へのアンケート調査を行い、来訪目的（目的意識）、利用ルート、満足度、魅力資源・魅力地点等について把握。		毎年	4月～11月	・H15 利用者意識調査 ・H16 西大台利用者の意向把握調査		○	○	○	○	○
	利用の質の向上に関する調査	巡視者に対し、巡視日報等を行い、マナー違反や不法行為の状況について情報収集。 歩道等における荒廃箇所や危険箇所、サイン等の施設の状況についても情報収集。	西大台全域	毎年	4月～11月			○	○	○	○	○
利用施設	歩道現況調査	<ul style="list-style-type: none"> 洗掘・複線化箇所等において、洗掘の幅・距離・深さ、複線化の距離・幅等を記録。 周辺地域を含めた歩道等に定点観測地点を設定し、写真撮影等により、歩道の現況を記録。 	一定規模の洗掘箇所・複線化箇所等 定点観測地点	洗掘箇所等調査は毎年 定点調査は5年に1回	秋季	・H17 西大台地区歩道現況調査		○	○	○	○	○